

大学番号：国076

注3

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

長崎大学 工学部 工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 長崎大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名・職名・氏名

総務部総務企画課企画班主査（企画） 村上陽介
文教地区事務部総務課工学部総務班主査（総務） 高野元
電話番号 095-819-2014
F A X 095-819-2024
e-mail soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況, 経費	36
4. 既設大学等の状況	37
5. 教員組織の状況	40
6. 留意事項に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 長崎大学

(2) 大学名 長崎大学

(3) 大学の位置

〒852-8521
長崎県長崎市文教町1番14号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 工学科 学士(工学)	4年	380人	— 年次人	1,520人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	380 (—) [—]	—	380 (—) [—]	—	380 (—) [—]	—	380 (—) [—]	—	1.06倍	
志願者数	1181 (—) [52]	— (—) [—]	1,017 (—) [49]	— (—) [—]	1,063 (—) [34]	— (—) [—]	1344 (—) [28]	— (—) [—]		
受験者数	936 (—) [51]	— (—) [—]	842 (—) [48]	— (—) [—]	818 (—) [31]	— (—) [—]	968 (—) [28]	— (—) [—]		
合格者数	444 (—) [24]	— (—) [—]	438 (—) [18]	— (—) [—]	453 (—) [12]	— (—) [—]	425 (—) [10]	— (—) [—]		
B 入学者数	409 (—) [13]	— (—) [—]	405 (—) [8]	— (—) [—]	412 (—) [6]	— (—) [—]	397 (—) [7]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.06		1.08		1.04			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[13] 409	[—] —	[8] 405	[—] —	[6] 412	[—] —	[7] 397	[—] —	
2年次	/		[13] 408	[—] —	[8] 401	[—] —	[6] 409	[—] —	
3年次			/		/		[12] 402	[—] —	[7] 397
4年次	/						/		[12] 399
計			[13] 409	[21] 813	[26] 1215	[32] 1602			

(注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成23年度入学者	409人	10人	平成23年度	1人	0人	他の教育機関への入学(1人)	2.4%
			平成24年度	6人	1人	進路変更(3人), 他の教育機関への入学(1人), 学力不足(1人), 心身に関する事情(1人)	
			平成25年度	3人	0人	一身上の都合(1人), 進路変更(1人), 他の教育機関への入学(1人)	
			平成26年度	0人	0人		
平成24年度入学者	405人	8人	平成24年度	4人	0人	進路変更(3人), 他の教育機関への入学(1人)	2.0%
			平成25年度	4人	1人	進路変更(1人), 他の教育機関への入学(3人)	
			平成26年度	0人	0人		
平成25年度入学者	412人	3人	平成25年度	3人	0人	進路変更(2人), 他の教育機関への入学(1人)	0.7%
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度入学者	397人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
合計	1623人	21人					1.3%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 工学科>

(1) 授業科目表

※全学的に全学教育科目を教養教育科目に改正

工学部工学科（全学教育科目）（全コース共通）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	教養セミナー	1前	2				16	14					
	教養特別講義	1前	2				4	4					
情報処理科目	情報処理入門	1前・後	2					5					
	コンピュータ入門	2前・後		2				4					
健康・スポーツ科学科目	健康科学	1前・後	1										
	スポーツ演習	1前・後	1										
外国語科目	既習外国語	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									
		英語コミュニケーションⅡ	1後	1									
		英語コミュニケーションⅢ	2前	1									
		総合英語Ⅰ	1前	1									
		総合英語Ⅱ	1後	1									
		総合英語Ⅲ	2後	1									
	初習外国語	ドイツ語Ⅰ	1前	(1)									
		ドイツ語Ⅱ	1後	(1)									
		ドイツ語Ⅲ	2前	(1)									
		ドイツ語Ⅳ	2後	(1)									
		フランス語Ⅰ	1前	(1)									
		フランス語Ⅱ	1後	(1)									
		フランス語Ⅲ	2前	(1)									
		フランス語Ⅳ	2後	(1)									
		中国語Ⅰ	1前	(1)									
		中国語Ⅱ	1後	(1)									
		中国語Ⅲ	2前	(1)									
		中国語Ⅳ	2後	(1)									
		韓国語Ⅰ	1前	(1)									
		韓国語Ⅱ	1後	(1)									
韓国語Ⅲ	2前	(1)											
韓国語Ⅳ	2後	(1)											
大文・社会科学科目	人間と文化	1・2前後		2									
	言語と芸術	1・2前後		2									
	社会と歴史	1・2前後		2									
	法と政治	1・2前後		2									
	経済と経営	1・2前後		2									
	日本国憲法	1・2前後		2									
	人間科学科目	人間の科学	1・2前後		2								
生体の機能		1・2前後		2									
生命の科学		1・2前後		2									
人間と環境		1・2前後		2									
生体の構造		1・2前後		2									
自然科学科目	数理科学	1・2前後		2			1	2					
	物理科学	1・2前後		2			4	2		1			
	化学の基礎	1・2前後		2			1	3					
	生物の科学	1・2前後		2									
	地球と宇宙の科学	1・2前後		2			1	1					
総合科学科目	口の健康・体の健康	1・2・3・4前		2									
	防災科学	1・2・3・4前		2			6	4		2			
	フランス学	1・2・3・4前		2									
	火山と災害	1・2・3・4前		2			1						
	キャリア概論	1・2・3・4前		2									
	平和講座	1・2・3・4前		2									
	トレーニングの科学	1・2・3・4後		2									
	キャリア概論	1・2・3・4後		2									
	平和講座	1・2・3・4後		2									
	酒の科学	1・2・3・4後		2									
	放射能の光と影	1・2・3・4後		2									
	暮らしと地球環境学	1・2・3・4後		2									
	異文化事情	1・2・3・4後		2									
	大学生のための育児学	1・2・3・4後		2									
	平和講座	1・2・3・4後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科学科目	口の健康・体の健康	1・2・3・4後		2								
	教養とは	1・2・3・4後		2								
	情報社会と情報システム	1・2・3・4後		2								
	時間の科学	1・2・3・4後		2								
	解放講座	1・2・3・4後		2								
	共同授業	1・2・3・4後		2								
	解放講座	1・2・3・4後		2								
全学乗船実習	1・2・3・4後		2									
開放科目	天文学	1・2・3・4後		2								
	総合経済b	2・3・4後		2								
	国際保健看護学	2・3・4前		1								
	生理学	1・2・3・4前		1.5								
	歯理工学Ⅰ	1・2・3・4前		1								
	口腔生理学	1・2・3・4後		1								
	基礎化学	1・2・3・4前		2								
	有機化学Ⅰ	1・2・3・4後		2								
	物理化学Ⅰ	1・2・3・4後		2								
	循環型社会工学	1・2・3・4後		2		1						
	工業材料概論	1・2・3・4後		2			2					
	電気工学概論	1・2・3・4後		2		1				1		
	電気工学概論	1・2・3・4後		2		1				1		
	環境統計学	1・2・3・4前		2								
	環境マネジメント論	2前		2								
	環境史	1・2・3・4前		2								
	地震・火山学	1・2・3・4前		2								
	地域環境研究(フランス語圏)	1・2・3・4前		2								
	水産と船	1・2・3・4前		2								
	海の生物Ⅰ	1・2・3・4前		2								
	生物化学概論	1・2・3・4前		2								
	食糧科学概論	1・2・3・4後		2								
	資源管理学概論	1・2・3・4後		2								
海の生物Ⅱ	1・2・3・4後		2									
海洋環境科学概論	1・2・3・4後		2									
海洋学概論	1・2・3・4後		2									

工学部工学科(教養教育科目)(全コース共通)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	<教養ゼミナール科目>											
	教養ゼミナール	1前	2			15	15					
	<情報科学科目>											
	情報基礎	1前	2									兼 4
	<健康・スポーツ科学科目>											
	健康科学	1前・後	1									兼 13
	スポーツ演習	1前・後	1									兼 6
	<英語>											
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼 6
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼 7
	英語コミュニケーションⅢ	2前・後	1									兼 7
	総合英語Ⅰ	1前	1									兼 10
	総合英語Ⅱ	1後	1									兼 9
	総合英語Ⅲ	2前・後	1									兼 6
	<初習外国語>											
	ドイツ語Ⅰ	1前	(1)									兼 1
	ドイツ語Ⅱ	1後	(1)									兼 1
	ドイツ語Ⅲ	2前	(1)									兼 2
	ドイツ語Ⅳ	2後	(1)									兼 2
	フランス語Ⅰ	1前	(1)									兼 1
	フランス語Ⅱ	1後	(1)									兼 1
	フランス語Ⅲ	2前	(1)									兼 1
	フランス語Ⅳ	2後	(1)									兼 1
	中国語Ⅰ	1前	(1)									兼 5
	中国語Ⅱ	1後	(1)									兼 5
	中国語Ⅲ	2前	(1)									兼 4
	中国語Ⅳ	2後	(1)									兼 4
	韓国語Ⅰ	1前	(1)									兼 1
	韓国語Ⅱ	1後	(1)									兼 1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	韓国語Ⅲ	2前	(1)								兼 1		
	韓国語Ⅳ	2後	(1)								兼 1		
	種別	科目名											
	心身の健康と生命	Ⅰ	人体の構造と機能	1後	2							兼 3	
			栄養とは何か	1後	2							兼 4	
			遺伝子と生命	1後	2							兼 4	
		Ⅱ	スポーツ医学	2前→後	2							兼 4	
			男と女の脳科学	2前→後	2							兼 4	
			ライフサイクルとメンタルヘルス	2前→後	2							兼 4	
	性と命(いのち)		2前→後	2							兼 4		
	健康と共生	Ⅰ	老化と死	2前→後	2							兼 4	
			人の一生と健康	1後	2							兼 3	
			性と生	1後	2							兼 4	
		Ⅱ	ハンディキャップ	1後	2		1					兼 2	
			大学生の育児学	2前→後	2							兼 3	
			仕事と健康	2前→後	2							兼 3	
	美と健康	Ⅰ	若いと健康	2前→後	2							兼 3	
			青年期の健康・体力増進	2前→後	2							兼 3	
			障害体験と支援	2前→後	2							兼 4	
		Ⅱ	ヒトの生物学	1後	2							兼 3	
			歯の進化と人類学	1後	2							兼 2	
			ストレスと健康	1後	2							兼 3	
	安全で安心できる社会	Ⅰ	先端医療・再生医療	2前→後	2							兼 2	
			食の科学	2前→後	2							兼 4	
			口と疾患	2前→後	2							兼 3	
		Ⅱ	口と健康	2前→後	2							兼 4	
			審美	2前→後	2							兼 4	
			健康と医療の安全・安心	1後	2							兼 4	
	モジュール科目	Ⅰ	リスク社会と社会科学	1後	2							兼 1	
			科学と技術の安全・安心	1後	2		1	1				兼 1	
			危機管理の考え方 破壊事故とヒューマン ファクタ	2前→後	2		4	1					担当教員の見直しのため(26)
		Ⅱ	医療現場の安全と安心	2前→後	2							兼 4	
			社会科学からみた安心・安全	2前→後	2							兼 1	
			工学から見た安全安心 (エネルギーと資源)	2前→後	2		2	1					
	教育と社会	Ⅰ	公害環境問題と社会	2後	2							兼 1	
			教育原理論	1後	2							兼 1	
			教育心理	1後	2							兼 1	
		Ⅱ	教育行政・制度論	1後	2							兼 1	
			教育相談	2前→後	2							兼 4	
			文学と社会	2前→後	2							兼 1	
現代の教養	Ⅰ	身のまわりの科学	2前→後	2							兼 1		
		芸術	2前→後	2							兼 1		
		環境と社会	2前→後	2							兼 1		
	Ⅱ	文化と社会	1後	2							兼 3		
		自然の科学	1後	2							兼 1		
		芸術の世界	1後	2							兼 1		
現代経済と企業活動	Ⅰ	ことばの世界	2前→後	2							兼 1		
		人間と社会	2前→後	2							兼 1		
		暮らしと科学	2前→後	2							兼 1	教育効果の向上のため(26)	
	Ⅱ	数と自然	2前→後	2							兼 1		
		音楽	2前→後	2							兼 1		
		美術	2前→後	2							兼 1		
現代経済と企業活動	Ⅰ	経済活動と社会	1後	2							兼 1		
		企業の仕組みと行動	1後	2							兼 1		
		経済政策と公共部門	1後	2							兼 1		

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	現代経済と企業活動	国際社会と日本経済	2前→後		2							兼 1	
		地域社会と日本経済	2前→後		2							兼 1	
		企業行動と戦略	2前→後		2							兼 1	
		社会制度と経済活動	2前→後		2							兼 1	
		経営情報と会計情報	2前→後		2							兼 1	
	環境問題を考える	地球温暖化を考える	1後		2							兼 4	
		水環境を考える	1後		2							兼 2	
		環境政策を考える	1後		2							兼 1	
		環境思想	2前→後		2							兼 1	教育効果の向上のため(26)
		環境と生物応答	2前→後		2							兼 3	教育効果の向上のため(26)
		廃棄物と土壌・地下水汚染	2前→後		2							兼 3	
		藻類の多様性と系統	2前→後		2							兼 1	
	ことばと文化とコミュニケーション	マスメディアと表現	1後		2							兼 3	
		ジェンダーとことば	1後		2							兼 1	
		心とことば	1後		2							兼 1	
		数と表現	2前→後		2							兼 1	
		音楽と表現	2前→後		2							兼 1	
		ICTとことば	2前		2							兼 2	教育課程の充実のため(26)
		多文化理解とことば	2前→後		2							兼 5	
		文字とことば	2前→後		2							兼 2	
		脳とことば	2前→後		2							兼 2	
		人の暮らしと海洋生物資源	海の生物と多様性	1後		2							兼 3
	海洋生物資源の生化学		1後		2							兼 4	
	海とは何か?～海洋生態系の現状と課題～		1後		2							兼 3	
	生物から見た水産業		2前→後		2							兼 3	
	人から見た水産業		2前→後		2							兼 3	
	海洋の生物と科学		2前→後		2							兼 3	
	海洋食料資源の応用		2前→後		2							兼 3	
	世界を知り、日本を知る	近現代のアジアと日本	1後		2							兼 1	教育課程の充実のため(26)
		人々の暮らしから見える現代日本	1後		2							兼 1	教育課程の充実のため(26)
		前近代の日本と世界	1後		2							兼 1	教育課程の充実のため(26)
	自由選択科目	日本国憲法	1前→後		2							兼 2	
		物理科学	1前→後		2			1	1				担当教員の見直しのため(26)
		解放講座	1前→後		2							兼 1	
		共同授業	1・2前→後		2							兼 1	
		全学乗船実習	1・2前→後		2							兼 1	
		オランダの文化	1前→後		2							兼 1	
		オランダの言語	1前→後		2							兼 1	
		特別活動論	1前→後		2							兼 1	
		生徒・進路指導論	1前→後		2							兼 1	教育課程の見直しのため(26)
教育方法・技術論		12前→後		2							兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目 自由選択科目	私たちと法	1前→後		2								兼 1
	日本の思想文化	1前→後		2								兼 1
	ジェンダーと法	1前→後		2								兼 1
	芸術と文化	1前→後		2								兼 1
	共生のグローバル人類学	1前→後		2								兼 1 教育効果の向上のため(26)
	社会学	1前→後		2								兼 1
	日本の言語と文化	1前→後		2								兼 1
	平成長崎塾	1前→後		2								兼 3
	男女共同参画のすすめ	1前→後		2								兼 1
	疑似科学とのつき合い方	1前→後		2								兼 5
	基礎物理	1前・後		2								兼 1
	基礎化学	1前・後		2								兼 1
	基礎生物	1前・後		2								兼 1
	基礎数学	1前・後		2								兼 1
	基礎英語	1前・後		2								兼 1
	平和講座	1前・後		2								兼 7
	キャリア概論	1前→後		2								兼 3
	長崎学	1前・後		2								兼 1
	東アジアの国際関係	1前		2								兼 1 教育課程の充実のため(26)
	家族社会学	1前		2								兼 1 教育課程の充実のため(26)
	宗教学	1前		2								兼 1 教育課程の充実のため(26)
	文化観光のマーケティング	1後		2								兼 1 教育課程の充実のため(26)
	上級外国語	3前		1								兼 3 教育課程の充実のため(26)
	English for Specific Purposes(A)	1前		1								兼 1
	English for Specific Purposes(B)	1後		1								兼 1
	English for Specific Purposes(C)	1後		1								兼 1 教育課程の充実のため(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 26	科目 107	科目 0	科目 133	科目 [0]	科目 [14]	科目 [0]	科目 [4]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

(1) 授業科目表
(機械工学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
工学基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			1	4					担当教員の見直しのため(23)
	微分積分学Ⅱ	1後	2			1						
	微分積分学Ⅲ	2前	2				1					
	微分積分学演習	2前	1			1	1					
	線形代数学Ⅰ	1前	2				1					
	線形代数学Ⅱ	通 1-2-3-4後			2	1				1		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	確率・統計	2前 2後	2					1				教育効果の向上のため(26) 教育効果の向上のため(25)
	応用数学A	3前		2								兼 1
	応用数学B	3後		2								兼 1
	応用数学C	2後		2			1					
	工業数学A	1-2-3-4前			1	1				1		兼 1 教育内容の充実のため(26)
	工業数学B	1-2-3-4後			1	1	4			1		教育内容の充実のため(26)
	工業数学C	1-2-3-4前			1		2			1		教育内容の充実のため(26)
	基礎物理A	1後	2			2	4					教育内容の充実のため(24)
	基礎物理B	通 1-2-3-4後			2	1	1					教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	基礎物理C	2前	2			4	1					担当教員の見直しのため(24)
	基礎物理D	4前 3前		2		4	1					担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25)
	基礎化学	1前		2		1						
	生命科学	1後		2								兼 1
	基礎実験	1前		1		4	3	2		5	6	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(24)
	情報科学概論	1前		2		4	1					担当教員の見直しのため(23)
	技術英語Ⅰ	2後	1			1	1					教育内容の充実のため(24)
	技術英語Ⅱ	3前	1			1	1			1		担当教員の見直しのため(26) 教育内容の充実のため(25)
	技術英語Ⅲ	3後	1			2				2	3	担当教員の見直しのため(26) 教育内容の充実のため(25)
	技術英語Ⅳ	4前	1			7	9			4	5	担当教員の見直しのため(26)
	創成プロジェクト	1-2-3-4通 1-2-3-4後		1			1	4				担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25) 担当教員の見直しのため(25)
	工学倫理と安全工学	3前	2			4	1					3 教育内容の充実のため(26) 兼 4 担当教員の見直しのため(25)
経営管理	3前 3後		2								兼 1 教育効果の向上のため(25)	
産業経済学	3前		2								兼 1	
専門科目	機械の入門	1前	1			7	8	9		4	5	担当教員の退職のため(26)
	プログラミング実習	1後	1			4	1					担当教員の見直しのため(25)
	ロボティクス基礎実験	2前	1			1	1		1			教育内容の充実のため(26) 教育内容の充実のため(25)
	エネルギー基礎実験	2後	1			3	4		1			教育内容の充実のため(25) 担当教員の見直しのため(24)
	機械工学実験	3前	1			2	4		3			教育内容の充実のため(25)
	機械のデザインⅠ	1後	1				1					
	機械のデザインⅡ	2後	1			4	2		2			担当教員の見直しのため(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	機械の設計製作A	3前	1			2	2		1	2		担当教員の退職のため(26) 担当教員の見直しのため(25)	
	機械の設計製作B	3後	1			8	9		5				
	エンジニアリングアプローチ	3後	2				1						
	エンジニアリングプラクティス	3前	1			1	1		1			担当教員の見直しのため(25)	
	CAE実習	3後		1		1	1			1		担当教員の退職のため(26) 担当教員の見直しのため(25)	
	材料力学 I	2前	3				1						
	材料力学 II	3前		2		1							
	弾塑性力学	3後											教育効果の向上のため(25)
	機械材料 I	3前		2			1						
	機械材料 II	3前		1			1						
	材料強度学	3後		1			1						
	機械力学 I	3前	3			1	2					担当教員の見直しのため(26) 兼 1 担当教員の見直しのため(25)	
	機械力学 II	3後		2		1	1					担当教員の見直しのため(25)	
	機構システム学	1前	2				1						
	設計工学	3前	3			1				1		担当教員の見直しのため(26) 兼 1 教育内容の充実のため(25)	
	トライボシステム学	3前		1			1						
	生産加工学	2前	2				1						
	生産加工学実習	2前	1				2						
	機械計測法	2後	3				2						
	精密加工学	3前		1			1						
	生産システム学	3前		1			1						
	応用光学	3前		1			1						
	生産管理	4前		1		1						兼 1 担当教員の見直しのため(26)	
	メカトロニクス	2前	2			1							
	制御工学 I	2後	2				1						
	制御工学 II	3後		2			1						
	ロボット工学	3後		2		1							
	福祉工学	4前		1		1							
	バイオメカニクス	3後		1		1	1					担当教員の見直しのため(25)	
	福祉工学実習	4前		1		1							
	流体力学 I	2後	3			1							
	流体力学 II	3前		2		1							
	熱力学 I	2後	3			1	1					担当教員の昇任のため(24)	
	熱力学 II	3前		2			1						
	伝熱学	3前	2			1	1					教育内容の充実のため(25)	
	流体機械	3後		2			1						
	エネルギーと環境工学	3後	2			1						兼 1 担当教員の見直しのため(25)	
	エンジン工学	3後		2		1							
	冷凍空調工学	4前		1		1	1					担当教員の昇任のため(26)	
	エネルギー変換工学	4前		1		2						兼 1 担当教員の見直しのため(26)	
	燃焼工学	4前		1								兼 1	
	ジェット推進工学	4前		1		1							
	新エネルギー論	4前		1			1						
	環境評価実践	4前		1			1						
	応用物理学	3後	2			1							
		2後											
	2前											教育効果の向上のため(26)	
数値計算法	2後	2			1							教育効果の向上のため(25)	
社会と工学	3後		2		1						兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	化学工学	後 4前		1			1					教育効果の向上のため(26)	
	地学概論	2後			2	2	2				兼1	担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
	工業入門	2前			2	2	2			2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
	職業指導 I	3前											担当教員の見直しのため(25)
		2後			2	2	2				2	兼1	教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導 II	後 3前			2	2	2				2	兼1	担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
国際インターンシップ			1									教育課程の充実のため(24)	
卒業研究		4通	8			7 8				5		担当教員の見直しのため(26)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 41	科目 39	科目 5	科目 85	科目 41 [0]	科目 40 [1]	科目 9 [4]	科目 90 [5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(機械工学コース)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(電気電子工学コース)

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
工学基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			1	1					担当教員の見直しのため(23)
	微分積分学Ⅱ	1前	2				1					
	微分積分学Ⅲ	1後	2			1			1			担当教員の見直しのため(26)
	微分積分学演習	1-2-3-4前			1	1	1		1			教育内容の充実のため(26)
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1						
	線形代数学Ⅱ	2前	2			1				1		担当教員の見直しのため(24)
	確率・統計	2後	2							2		教育内容の充実のため(25)
	応用数学A	1後	2				1					
	応用数学B	2前	2				1					
	応用数学C	1後	2				1					
	工業数学A	1-2-3-4前			1	1	1					兼 1 教育内容の充実のため(26)
	工業数学B	1-2-3-4後			1	1	1			1		教育内容の充実のため(26)
	工業数学C	前 1-2-3-4後			1		1			1		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	基礎物理A	1前	2				1					
	基礎物理B	2後		2		1	2					担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	基礎物理C	1後	2							1		
	基礎物理D	2前		2			1					
	基礎化学	3後		2		1	1					担当教員の見直しのため(25)
	生命科学	3前		2			1					
	基礎実験	1後	1				2	5		6	2	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(24)
	情報科学概論	1後	2			1	1			1		担当教員の見直しのため(23)
	技術英語Ⅰ	3前	1			1						兼 1 担当教員の見直しのため(26)
	技術英語Ⅱ	3後		1		1						兼 1 担当教員の見直しのため(26)
	技術英語Ⅲ	4前		1		1						
	技術英語Ⅳ	1-2-3-4前			1	1	4	7		5		担当教員の見直しのため(26)
	創成プロジェクト	1-2-3-4後 1-2-3-4前			1	1	1					担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25)
	工学倫理と安全工学	3後	2									兼 1
	経営管理	4前		2								兼 1
	産業経済学	4前		2								兼 1
	専門科目	プレゼンテーション技法	2後	1			1				1	
思考法演習		3前	1			1						
電気電子数学演習		2後	1				1			1		担当教員の見直しのため(24)
電気回路Ⅰ		1前	2			1						
電気回路Ⅱ		1後	2			1	1					担当教員の昇任のため(25)
電気回路Ⅲ		2前	2			1						
電気回路Ⅰ演習		1前	1			1						
電気回路Ⅱ演習		1後	1			1	1					担当教員の昇任のため(25)
電気回路Ⅲ演習		2前	1			1						
電気磁気学Ⅰ		2前	2			1						
電気磁気学Ⅱ		2後	2			1						
電気磁気学Ⅲ		3前	2			1						
電気磁気学Ⅰ演習		2前	1			1						
電気磁気学Ⅱ演習		2後	1			1						
電気磁気学Ⅲ演習		3前										
電気電子計測		2後	1			1						教育効果の向上のため(24)
プログラミング演習		3後	2			1						
		2前	1				2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	数値解析アルゴリズム	3前	1				1		2			担当教員の見直しのため(25)
	電気電子工学実験 I	2前	1			1	2		1	2		担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(24)
	電気電子工学実験 II	2後	1				1	3	2	1		担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(24)
	電気電子工学実験 III	3前	1			1	2		2	3		
	プロジェクト実験	3後	2			2	8			6		
	データ構造とアルゴリズム	3後		2			1			1		担当教員の見直しのため(25)
	コンピュータ構成論	3前		2			1					
	デジタル信号処理	前 2後	2			1				1		教育効果の向上のため(26) 担当教員の見直しのため(24)
	電気エネルギー工学 I	3前	2			1						
	自動制御 I	2後	2			1						
	電気機器 I	3前	2			1						
	電子回路 I	2前	2			1	1					担当教員の見直しのため(24)
	デジタル論理回路	3後	2			1	1					担当教員の見直しのため(25)
	電子物性	2後	2			1						
	通信方式	2後	2			1	1					担当教員の見直しのため(24)
	電気エネルギー工学 II	3後		2		1						
	高電圧・パルスパワー工学	4前		2		1						
	電気エネルギーシステム	4後		2		1	1					
	電気法規及び電力管理	4前		2								兼 1
	自動制御 II	3前		2		1						
	デジタル制御	3後		2		1						
	電気機器 II	3後		2		1						
	パワーエレクトロニクス	3後		2			1					
	電気機器設計・製図	4前		2		1						兼 1 担当教員の見直しのため(26)
	電子回路 II	2後		2			1					
	デジタル電子回路	3前		2		1	1					担当教員の見直しのため(25)
	電気電子材料学	3後		2		1	1					担当教員の昇任のため(25)
	電子デバイス	3前		2			1					
	プラズマ工学	3後		2		1						
	通信機器	後 3前		2		1						教育効果の向上のため(26)
	通信伝送工学	3後		2		1	1					担当教員の見直しのため(25)
	電磁波工学A	前 3後		2			1					教育効果の向上のため(26)
	電磁波工学B	3後		2		1						
	計算電磁気学	3前		2		1						
	光工学	4前		2			1					
	通信法規	4後		2								兼 1 担当教員の見直しのため(25)
	学外実習・工場見学	前 3通		1		1						教育効果の向上のため(26)
	地学概論	2後			2	2	2					兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	工業入門	2前			2	2	2			2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導 I	3前 2後			2	2	2			2		担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	職業指導Ⅱ	後3前			2	2	2			2		担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	国際インターンシップ	1・2・3・4前1後		1								教育課程の充実のため(24)
	卒業研究	4通	8			8 4	6 7			6 5		兼 2 教育内容の充実のため(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
46	33	5	84	46 [0]	34 [1]	9 [4]	89 [5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(電気電子工学コース)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(情報工学コース)

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
工学基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			+	1			+		担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(23)	
	微分積分学Ⅱ	1後	2				+			+	1	担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(23)	
	微分積分学Ⅲ	2前	2					1					
	微分積分学演習	前 1・2・3・4後			1	1	1						教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	線形代数学Ⅰ	1前	2								1		
	線形代数学Ⅱ	1後	2								1		
	確率・統計	1後	2			1	+			1			担当教員の見直しのため(23)
	応用数学A	通 1・2・3・4後			2	1	+	2			1		兼 1 教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	応用数学B	通 1・2・3・4後			2		1			1			兼 1 教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	応用数学C	通 1・2・3・4後			2			3					教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	工業数学A	前 1・2・3・4後			1	1					+		兼 1 教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	工業数学B	後 1・2・3・4後			1	1	+	2			1		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	工業数学C	前 1・2・3・4後			1			2			1		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	基礎物理A	2前		2				1					
	基礎物理B	3前		2				1					
	基礎物理C	1後		2		1							
	基礎物理D	1・2・3・4前			2			1					
	基礎化学	3後		2		+	1						担当教員の見直しのため(25)
	生命科学	3前		2				1					
	基礎実験	通 1・2・3・4後			1	+	8			16	1		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	情報科学概論	1前	2								1		
	技術英語Ⅰ	2前	1										兼 1
	技術英語Ⅱ	3前		1		+	4	5		4			兼 1 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	技術英語Ⅲ	3後		1		1	4	5		4			担当教員の見直しのため(25)
	技術英語Ⅳ	4前		1		1	4	5		4			担当教員の見直しのため(26)
	創成プロジェクト	1・2・3・4通 1・2・3・4後			1		+	1					担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25)
	工学倫理と安全工学	2後	2										兼 2
	経営管理	4前		2									兼 1
	産業経済学	4後		2									兼 1
	専門科目	情報基礎数学	2前	2							1		
情報数学Ⅰ		2後	2			1	+					担当教員の昇任のため(24)	
情報数学Ⅱ		3前		2		1	+					担当教員の見直しのため(25)	
情報数学Ⅲ		3後		2		1	+					担当教員の見直しのため(25)	
グラフ理論と最適化		2前	2					1					
情報理論		2前	2			1							
データ構造とアルゴリズム		2後	2					1		+		担当教員の見直しのため(24)	
オートマトンと言語理論		2後	2					1					
コンピュータ概論		1前	2			1							
コンピュータ構成論		2前	2					1					
コンピュータアーキテクチャ		4前		2				1					
オペレーティングシステムⅠ		3前	2					1					
オペレーティングシステムⅡ		3後		2		1	+					担当教員の見直しのため(26)	
コンパイラ		4前		2				1					
		3											
情報ネットワークⅠ		4前	2			1							教育効果の向上のため(23)
情報ネットワークⅡ		3後		2		1							
プログラミング概論		1後	2				+			1			担当教員の見直しのため(26)
プログラミング言語論		3前		2				1					教育効果の向上のため(25)
		3後				1							担当教員の昇任のため(25)
電気回路Ⅰ	1前	2			+	+						担当教員の見直しのため(23)	
電子回路Ⅰ	2前		2				1						
集積回路工学	3前		2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	デジタル信号処理Ⅰ	2前	2			1							
	デジタル信号処理Ⅱ	2後	2			1							
	人工知能	3前		2		1							
	知識工学	3後		2		1							
	データベース	3前	2			1							
	画像処理	後 3前		2			1						教育効果の向上のため(26)
	パターン認識	3後		2		4	1						担当教員の見直しのため(25)
	音響音声工学	3後		2		1							
	ソフトウェア工学	3後	2			1	4						担当教員の見直しのため(26)
	ヒューマンインターフェース	2後		2			1						
	コンピュータシミュレーション	3後		2		1							
	コンピュータグラフィックス	4前		2			1						
	ハードウェア記述言語	3前		2		1							
	プログラミング演習Ⅰ	1後	2				4			1			担当教員の見直しのため(23)
	プログラミング演習Ⅱ	2前	2			4				1			担当教員の見直しのため(25)
	プログラミング演習Ⅲ	2後	2				1			4			担当教員の見直しのため(24)
	プログラミング演習Ⅳ	3前	2				1						担当教員の見直しのため(24)
	情報工学実験Ⅰ	2後	2				2	4			1		担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	情報工学実験Ⅱ	3前	2			1	4			2			担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	情報工学実験Ⅲ	3後	2				1						
	プロジェクト研究	3通		1		1							
	地学概論	2後			2	2	2					兼 1	担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	工業入門	2前			2	2	2			2			担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅰ	3前 2後			2	2	2			2		兼 1	担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅱ	後 3前			2	2	2			2		兼 1	担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	国際インターンシップ	12-3-4年-8		1									教育課程の充実のため(24)
	卒業研究	4通	8				6	6					教育内容の充実のため(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	31	9	72	32	32	13	77	
				[0]	[1]	[4]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(情報工学コース)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

(構造工学コース)

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
工学基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			1			4			担当教員の見直しのため(23)	
	微分積分学Ⅱ	1後	2				1						
	微分積分学Ⅲ	1後	2			1	4					担当教員の見直しのため(23)	
	微分積分学演習	1・2・3・4前			1	1	1					教育内容の充実のため(26)	
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1	4			4		担当教員の見直しのため(26)	
	線形代数学Ⅱ	通 1・2・3・4後			2	1				1		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)	
	確率・統計	通 1・2・3・4後			2	1	1			3		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)	
	応用数学A	2後	2			1							
	応用数学B	通 1・2・3・4後			2		1			1		兼 1 教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)	
	応用数学C	2前	2				1	2				担当教員の見直しのため(24)	
	工業数学A	1・2・3・4前			1	1				4		兼 1 教育内容の充実のため(26)	
	工業数学B	1・2・3・4後			1	1	4			1		教育内容の充実のため(26)	
	工業数学C	前 1・2・3・4後			1		2			1		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)	
	基礎物理A	1後	2			1							
	基礎物理B	1前		2		1	2					担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)	
	基礎物理C	1前		2		1							
	基礎物理D	前 1・2・3・4後			2	4	1					教育効果の向上のため(26) 担当教員の見直しのため(26)	
	基礎化学	2前	2			1							
	生命科学	1前	2									兼 2	
	基礎実験	1後 1・2・3・4後		1			4	2	5	6	2	兼 1	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上及び担当教員の見直しのため(24)
	情報科学概論	通 1・2・3・4後			2	1	2			1		教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)	
	技術英語Ⅰ	2前	1			4	1					担当教員の見直しのため(24)	
	技術英語Ⅱ	3前		1		2	4	4		2		担当教員の見直しのため(26) 教育内容の充実のため(25)	
	技術英語Ⅲ	1・2・3・4前			1	1	2			4		教育内容の充実のため(26)	
	技術英語Ⅳ	前 1・2・3・4後			1	4	4					教育効果の向上のため(26) 担当教員の見直しのため(26)	
	創成プロジェクト	1・2・3・4通 1・2・3・4後		1			4	1				担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25)	
	工学倫理と安全工学	3後	2				1						
	経営管理	3前		2								兼 1	
	産業経済学	3後		2								兼 1	
	専門科目	電気工学概論	3後	2			4				4		教育課程の見直しのため(25)
循環型社会工学		3後	2			4	4					教育課程の見直しのため(23)	
構造工学入門		1前	1			4	4			2		教育内容の充実のため(25)	
構造力学Ⅰ		1後	2			1							
構造力学Ⅱ		2前	2				1						
構造力学Ⅲ		3前		2			1					教育課程の充実のため(25)	
構造力学演習Ⅰ		1後 2前	1							1		教育効果の向上のため(23)	
構造力学演習Ⅱ		前 2後	1							1		教育効果の向上のため(24)	
材料力学		2前	2			1							
構造振動学		3前	2			1							
構造振動学演習		3前	1			1				1			
計算力学		3前	2			1							
計算力学演習		3前	1			1				4		担当教員の見直しのため(25)	
シミュレーション工学		2前	1			1							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	平面及び曲面構造論	3前 3後 3前		2			1						教育効果の向上のため(25) 教育効果の向上のため(24)	
	構造物安定論	2後 3前	2				1						教育効果の向上のため(24)	
	土質力学	2後	2			1								
	鋼構造設計法	3前		2		1								
	RC構造設計法	3前		2			1							
	基礎構造設計法	3前	2			1								
	構造塑性力学	3前		2			1							
	溶接構造強度学	2後	2				1							
	コンクリート材料及び施工	2前	2				4			1			担当教員の見直しのため(26)	
	維持管理工学	3後	2			2								
	水理学	3前		2		1								
	環境地質学	2後											教育効果の向上のため(25)	
	応用地質学	2前		2		1							科目内容の見直しのため(23)	
	建築法規及び耐震工学	3後 3前		2			1						教育効果の向上のため(25)	
	建築環境工学	3前		2									兼 1	
	建築学概論	前 2後		2									兼 1 教育効果の向上のため(26)	
	都市工学概論	3前		2									兼 1	
	建築計画	後 2前		2			1						教育効果の向上のため(26)	
	防災計画	3後		2			1							
	設備工学	2後		2				4					兼 1 担当教員の見直しのため(26)	
	海洋構造工学概論	2後		2			1						教育内容の充実のため(24)	
	航空宇宙構造工学概論	2後		2									兼 1	
	アルゴリズムと言語処理	1後		1						1				
	CAD実習													
	CAD演習	2前		2				1			1			科目内容の見直しのため(23)
	建築製図Ⅰ	1後		1			1	4						担当教員の昇任のため(24) 教育内容の充実のため(23)
	建築製図Ⅱ	2後		1				1						
	建築製図Ⅲ	4前			2			1						担当教員の見直しのため(26) 教育課程の充実のため(25)
	構造設計製図A	3通 3前		2	2		1				1			教育効果の向上及び教育内容の充実のため(25) 教育課程の見直しのため(23)
	構造設計製図B	3後		2	2			1					兼 1	教育課程の見直しのため(23)
	構造工学実験	3通		2			3	1			3			担当教員の見直しのため(25)
	エンジニアリングデザイン	3後		1			3 2 4	2 4			2 4			教育内容の充実のため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	構造工学セミナー	3後		1			4	4			2			教育内容の充実のため(25)
	構造材料学	3前			2		1							教育課程の充実のため(25)
	プレストレストコンクリート工学	3後			2		1							教育課程の充実のため(25)
	軽構造設計法	4前			2		1							教育課程の充実のため(25)
	建築施工	4前			2		1	4						担当教員の見直しのため(26) 教育課程の充実のため(25)
	接合工学	4前			2		1							教育課程の充実のため(25)
	学外実習及び見学	前 3通		1			1 4				1			教育効果の向上のため(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	地学概論	2後			2		2	2						兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考	
			必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	工業入門	2前		2	5 2	2			2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅰ	3前 2後		2	2	2			2		担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導Ⅱ	後 3前		2	2	2			2		担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	国際インターンシップ	1-2-3-4組・9		1							教育課程の充実のため(24)
	卒業研究	4通	8		4	4			2 3		担当教員の見直しのため(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 35	科目 28	科目 11	科目 74	科目 35 [0]	科目 26 [△2]	科目 23 [12]	科目 84 [10]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(構造工学コース)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(社会環境デザイン工学コース)

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
工学基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			1			1			担当教員の見直しのため(25)	
	微分積分学Ⅱ	1後	2			1			1			担当教員の見直しのため(25)	
	微分積分学Ⅲ	2前	2				1		1			担当教員の見直しのため(25)	
	微分積分学演習	前 1・2・3・4後			1	1	1						教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1			1			担当教員の見直しのため(25)	
	線形代数学Ⅱ	通 1・2・3・4後			2	1				1			教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	確率・統計	通 1・2・3・4後			2	1	1			1			教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	応用数学A	1後	2				1		1				教育内容の充実のため(26) 担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	応用数学B	2前	2							1 2 1			担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	応用数学C	通 1・2・3・4後			2		3 4						教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	工業数学A	1前	1			1				2			担当教員の見直しのため(25)
	工業数学B	1後	1				1	1		1 2 1			教育内容の充実のため(26) 担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	工業数学C	2前	1					1		1 3 2			教育内容の充実のため(26) 担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	基礎物理A	1後	2			1							
	基礎物理B	1前		2		1	2						担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	基礎物理C	1前		2		1							
	基礎物理D	1・2・3・4前	1前	2	2	1	1						教育効果の向上及び担当教員の見直しのため(25) 教育課程の見直しのため(23)
	基礎化学	3前		2		1							
	生命科学	3前 3後		2									兼 2 教育効果の向上のため(25)
	基礎実験	1前	1				3 4	2 3		5 6			担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	情報科学概論	1後		2		1	1						担当教員の見直しのため(23)
	技術英語Ⅰ	3前	1				1			1			担当教員の見直しのため(25)
	技術英語Ⅱ	3後	1				1			1			担当教員の見直しのため(25)
	技術英語Ⅲ	4前	1				1			1			担当教員の見直しのため(26)
	技術英語Ⅳ	4前			1		1 3	3		3			担当教員の見直しのため(26)
	創成プロジェクト	1・2・3・4通 1・2・3・4後		1			1	1					担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25)
	工学倫理と安全工学	3後	2			1							
経営管理	3前 3後		2									兼 1 教育効果の向上のため(25)	
産業経済学	後 3前 3後		2									教育効果の向上のため(26) 兼 1 教育効果の向上のため(25)	
専門科目	社会環境デザイン工学セミナー	1前	1			1	1		3				
	社会環境デザイン製図	1後	1				1		2			教育内容の充実のため(23)	
	連続体力学入門	1後	2			1							
	構造力学Ⅰ	2前	2			1							
	構造力学Ⅱ	2後	2			1							
	地盤力学Ⅰ	2前	2			1							
地盤力学Ⅱ	2後	2			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	水理学 I	2前	2			1						
	水理学 II	2後	2			1						
	専門基礎力学演習A	2前	2			3						担当教員の見直しのため(24)
	専門基礎力学演習B	2後	2			2	1			1		担当教員の見直しのため(24)
	測量学	2前	2			3						担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	測量学実習	2後	1			1				1		担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24)
	都市・交通計画	2後	2				1					
	計画学数理	2前 2後	2				1					担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25)
	コンピュータ情報処理	3後	1				1			1		兼 1 担当教員の見直しのため(25)
	社会環境デザイン工学実験・演習A	3前	1			3				3		教育内容の充実のため(26)
	社会環境デザイン工学実験・演習B	3前	1			2	1			2		教育内容の充実のため(25)
	キャリアセミナー	3前	1			1	1			3		
	学外実習及び見学	3後	1				1			1		担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	構造振動学	3前	2				1					
	建設材料学	2後	2				1					
	コンクリート構造工学	3後	2				1					
	水文学	3前	2				1					
	環境水理学	3前	2				1					
	海岸環境物理学	3後	2				1					
	環境地質学	3後	2				1					
	応用地盤工学	3前	2				1			1		担当教員の見直しのため(25)
	地圏環境工学	3後	2				1					
	環境計画学	2後	2				1			1		担当教員の見直しのため(24)
	空間情報処理学	3前	2				1			1		担当教員の見直しのため(25)
	景観デザイン	2前	2				1			1		教育内容の充実のため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	維持管理工学	3前	2				1					
	コンピュータ構造設計	4前	2				1					
	環境生態学	1後	2							1		
	水環境システム工学	3後	2				1					
	水圏デザイン工学	4前	2				1					
	循環型社会工学	4前	2							1		
	災害リスクマネジメント	4前	2				1	1		1		担当教員の見直しのため(26)
	環境修復工学	3後	2				1	1		2		教育内容の充実のため(25)
	エコエネルギー工学	3後	2				1			1		担当教員の見直しのため(25)
	環境計量学	3後	2				1	2				担当教員の見直しのため(25)
	建設マネジメント	3後	2				1	1				教育内容の充実のため(25)
	工業爆薬学	4前	2									兼 1
	地学概論	2後			2		2	2				担当教員の見直しのため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	工業入門	2前			2		2	2		2		担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	職業指導 I	3前 2後			2		2	2		2		担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	職業指導Ⅱ	後3年			2	2	2		2		担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	国際インターンシップ	1・2・3・4年・5年		1							教育課程の充実のため(24)
	卒業研究	4通	8			5 3	4 3		4 3		教育内容の充実のため(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
37	32	5	74	37 [0]	32 [0]	10 [5]	79 [5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(社会環境デザイン工学コース)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(化学・物質工学コース)

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
工学基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2								兼 1		
	微分積分学Ⅱ	1後	2			+					兼 1	担当教員の見直しのため(25)	
	微分積分学Ⅲ	1後	2			1						教育内容の充実のため(23)	
	微分積分学演習	1-2-3-4前			1	1	1						教育内容の充実のため(26)
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1							教育内容の充実のため(24)
	線形代数学Ⅱ	通 1-2-3-4後			2	1				1			教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	確率・統計	前 4後 3後		2			1						担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(26) 教育効果の向上のため(25)
	応用数学A	通 1-2-3-4後			2	1	+			1		兼 1	教育内容の充実のため(26)
	応用数学B	通 1-2-3-4後			2		1			1		兼 1	教育内容の充実のため(26)
	応用数学C	通 1-2-3-4後			2		+	3					教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	工業数学A	3前	1									兼 1	
	工業数学B	2後		1			1						
	工業数学C	2前		1			1						
	基礎物理A	1前	2				1						
	基礎物理B	通 1-2-3-4後			2	1	1						教育効果の向上のため(26) 教育内容の充実のため(26)
	基礎物理C	1後	2				1						
	基礎物理D	前 1-2-3-4後			2		1						教育効果の向上のため(26)
	基礎化学	1前	2			1							
	生命科学	1前	2			1							
	基礎実験	2前	1				2	2		2	1		担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(24)
	情報科学概論	後 4前 3前		2				1		+			教育効果の向上のため(26) 担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25)
	技術英語Ⅰ	1後	1				+	+			2		担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(23)
	技術英語Ⅱ	2後 2前	1			1	1			3			教育効果の向上のため(25) 担当教員の見直しのため(24)
	技術英語Ⅲ	3後 3前	1							4	3		教育内容の充実のため(26) 教育効果の向上のため(25)
	技術英語Ⅳ	4前		1			9	10			10	1	教育内容の充実のため(26)
	創成プロジェクト	1-2-3-4通 1-2-3-4前		1			+	1					担当教員の見直しのため(26) 教育効果の向上のため(25)
	工学倫理と安全工学	3-4前 3-4後	2				2	+					教育内容の充実のため(26) 教育効果の向上のため(26)
	経営管理	4前		2								兼 1	
	産業経済学	4前		2								兼 1	
	専門科目	物理化学Ⅰ	1後	2			1						
		無機化学Ⅰ	1後	2			+	+					担当教員の見直しのため(24) 教育内容の充実のため(23)
		有機化学Ⅰ	1後	2			1	+					担当教員の見直しのため(23)
物理化学Ⅱ		2前	2			1							
無機化学Ⅱ		2前	2			1	+					担当教員の昇任のため(24)	
有機化学Ⅱ		2前	2			1	+					担当教員の昇任のため(24)	
分析化学Ⅰ		2前	2			1							
生化学Ⅰ		2前	2			1							
固体物理学Ⅰ		2前	2				+			1		担当教員の見直しのため(24)	
固体構造科学		2前	2				1						
金属組織学Ⅰ		2前	2				1						

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	実験の安全指針	2前	1						2 3 4		1		担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(24)
	高分子化学	2後	2			+	1						担当教員の見直しのため(26) 教育内容の充実のため(24)
	固体物理学Ⅱ	2後 2前	2				1						教育効果の向上のため(25)
	電気化学Ⅰ	2後 2前	2				1						教育効果の向上のため(25)
	反応速度論	2後	2				1	+					担当教員の昇任のため(24)
	有機化学Ⅲ	2後	2				1						
	量子化学	2前 2後	2				1	+			+		兼 1 担当教員の昇任のため(24)
	生化学Ⅱ	2後	2				1						
	金属組織学Ⅱ	2後	2				1						
	固体構造欠陥論	2後	2				1	+					担当教員の見直しのため(26)
	分析化学Ⅱ	3前	2				1						
	材料物性演習Ⅰ	3前	1				1	2			2		担当教員の見直しのため(25)
	分子化学演習Ⅰ	3前	1				2	2					担当教員の見直しのため(25)
	応用化学実験Ⅰ	3前	1				3 4 2	2 3 2			3 2		担当教員の見直しのため(26) 教育内容の充実のため(25)
	有機生命実験Ⅰ	3前	1				2	2			1 2		担当教員の見直しのため(26)
	材料物性実験Ⅰ	3前	1				1 2	3 2			2	1	担当教員の見直しのため(25)
	機器分析学A	3前	2				+	1					
	機器分析学B	3前	2				+				2		担当教員の見直しのため(25)
	錯体化学	3前	2				1	+					担当教員の昇任のため(25)
	高分子物性学Ⅰ	3前	2				+	1					担当教員の退職のため(26) 教育内容の充実のため(25)
	生化学Ⅲ	3前	2				1						
	固体物理学Ⅲ	3前	2					1					
	セラミックス材料物性学	3前	2				+	1					担当教員の見直しのため(25)
	金属材料物性学	3前	2				1						
	化学工学Ⅰ	3前	2				1						
	材料物性演習Ⅱ	3後	1				+	1 2	3 2			1	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	分子化学演習Ⅱ	3後	1				3 2	1 2					担当教員の昇任のため(25)
	応用化学実験Ⅱ	3後	1				3 4 2	2 3 2			3 2		担当教員の見直しのため(26) 教育内容の充実のため(25)
	有機生命実験Ⅱ	3後	1				2	2			2		担当教員の見直しのため(25)
	材料物性実験Ⅱ	3後	1				1 2	2 2			2		担当教員の見直しのため(25)
	界面化学	3後	2				1						
	有機金属化学	3後	2					1					
有機化学Ⅳ	3後	2				1							
電気化学Ⅱ	3後	2					1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専 門 科 目	高分子物性学Ⅱ	3後		2			1	2					担当教員の見直しのため(26) 兼 1 教育内容の充実のため(25)	
	生化学Ⅳ	3後		2			1							
	半導体材料学	3後		2			1						兼 1	
	化学工学Ⅱ	3後		2		1								
	工場見学	3後		1		1	2	1					担当教員の見直しのため(26) 担当教員の昇任のため(25)	
	インターンシップ	3前 3前		1		1	1							担当教員の見直し及び教育効果の向上のため(25)
	物理化学Ⅲ	4前		1		2	1						教育内容の充実のため(26)	
	無機化学Ⅲ	4前		1		1								
	有機化学Ⅴ	4前		1		1								
	生化学Ⅴ	4前		1		1								
	医用材料学	4前		1		1				1			教育内容の充実のため(26)	
	環境工学	4前		1									兼 1	
	特別講義	前 4後		1									2 兼 1 担当教員の見直しのため(26)	
	地学概論	2後			2	2	2						担当教員の見直しのため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
	工業入門	2前			2	2	2			2			担当教員の見直しのため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
	職業指導Ⅰ	3前 2後			2	2	2			2			担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
	職業指導Ⅱ	後 3前			2	2	2			2			担当教員の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)	
	国際インターンシップ	0-2-3-4期-8			1									教育課程の充実のため(24)
	卒業研究	4通		8		9	10			10	1		教育内容の充実のため(26)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 41	科目 40	科目 7	科目 88	科目 41	科目 40	科目 12	科目 93	
				[0]	[0]	[5]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(化学・物質工学コース)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

(全コース共通)

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教		助手
教職に関する科目	教職論											
	教育職業論	2前			2							兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	教育原理論	1 2後			2							教育課程の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24)
	教育心理	1後 2前			2							教育課程の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24)
	教育行政・制度論	1 2後			2							教育課程の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24)
	理科教育法	3通 3前			4							兼 2 教育効果の向上のため(25)
	数学科教育法	3通 3後			4							1 担当教員の見直しのため(26) 兼 2 教育効果の向上のため(25)
	工業科教育法	3通 3前			4							兼 1 教育効果の向上のため(25)
	特別活動論	1・2前 2前			2							教育課程の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24)
	教育方法・技術論	1・2前 2後			2							教育課程の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24)
	生徒・進路指導論	1・2前 2前			2							教育課程の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24) 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	教育相談	前 2後			2							教育課程の見直しのため(25) 教育効果の向上のため(24)
	教職実践演習	後 4前			2							教育効果の向上のため(24)
	教育実地研究Ⅰ(事前・事後指導)	通年 4前										教育効果の向上のため(26) 教育効果の向上のため(24)
	教育実地研究(事前・事後指導)	3後			1							兼 1 教員免許状の課程認定審査のため(23)
	教育実地研究Ⅱ(実習)	前										教育効果の向上のため(24)
	教育実地研究(実習)	4後			2							教員免許状の課程認定審査のため(23)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
0	0	14	14	0	0	7	7	
				[0]	[0]	[△7]	[△7]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(全コース共通)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成25年4月 専任教員1名を新規 採用のため(25)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍			
多文化社会学部 多文化社会学科	4	100	—	100	学士(多文化社会学)	0.99	平成26年度	長崎市文教町1-14	
教育学部 学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.01	平成10年度	長崎市文教町1-14	
経済学部 総合経済学科 昼間コース	4	265	3年次 10	1,350	学士(経済学)	1.02	平成10年度	長崎市片淵4-2-1	
夜間主コース	4	60	5	250	〃	〃	〃	〃	
医学部 医学科	6	116	2年次 5	704	学士(医学)	1.00	昭和24年度	長崎市坂本1-12-4	
保健学科	4	106	3年次 14	452	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成14年度	長崎市坂本1-7-1	
歯学部 歯学科	6	50	—	300	学士(歯学)	1.00	昭和55年度	長崎市坂本1-7-1	
薬学部 薬学科	6	40	—	240	学士(薬学)	1.02	平成18年度	長崎市文教町1-14	
薬科学科	4	40	—	160	学士(薬科学)	1.09	昭和61年度	〃	
工学部 工学科	4	380	—	1,520	学士(工学)	1.06	平成23年度	長崎市文教町1-14	平成23年度より 学生募集停止 (各学科共通の 編入学定員は、 学年進行に伴い 平成25年度より 学生募集停止)
機械システム工学科	4	—	—	—	〃	—	平成2年度	〃	
電気電子工学科	4	—	—	—	〃	—	平成10年度	〃	
情報システム工学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	
構造工学科	4	—	—	—	〃	—	昭和42年度	〃	
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	平成3年度	〃	
材料工学科	4	—	—	—	〃	—	昭和45年度	〃	
応用化学科	4	—	—	—	〃	—	平成3年度	〃	
各学科共通	—	—	3年次 —	—	—	—	平成18年度	—	
環境科学部 環境科学科	4	130	3年次 10	570	学士(環境科学)	1.00	平成10年度	長崎市文教町1-14	
水産学部 水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.04	昭和48年度	長崎市文教町1-14	

【研究科】									
教育学研究科 (修士課程) 教科実践専攻 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	平成20年度	長崎市文教町1-14	教科実践専攻は、 平成26年度より学 生募集停止
	2	38	—	58	教職修士(専門職)	0.84	平成26年度	長崎市文教町1-14	
経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻 (博士後期課程) 経営意思決定専攻	2	15	—	30	修士(経済学) 修士(経営学)	0.89	平成16年度	長崎市片淵4-2-1	
	3	3	—	9	博士(経営学)	1.11	平成16年度	長崎市片淵4-2-1	
工学研究科 (博士前期課程) 総合工学専攻 (博士後期課程) 生産システム工学専攻 (博士課程) グリーンシステム創成科学専攻	2	200	—	400	修士(工学)	1.08	平成23年度	長崎市文教町1-14	
	3	10	—	30	博士(工学)	1.16	平成23年度	長崎市文教町1-14	
	5	5	—	20	博士(工学)	0.85	平成23年度	長崎市文教町1-14	
水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程) 水産学専攻 環境共生政策学専攻 環境保全設計学専攻 (博士後期課程) 環境海洋資源学専攻 (博士課程) 海洋フィールド生命科学専攻	2	35	—	70	修士(学術) 修士(水産学)	0.79	平成23年度	長崎市文教町1-14	
	2	8	—	16	修士(学術) 修士(環境科学)	0.93	平成23年度	〃	
	2	17	—	34	〃	1.14	平成23年度	〃	
	3	12	—	36	博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学)	1.08	平成23年度	長崎市文教町1-14	
	5	5	—	20	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	0.60	平成23年度	長崎市文教町1-14	
生産科学研究科 (博士前期課程) 機械システム工学専攻 環境システム工学専攻 (博士後期課程) システム科学専攻 海洋生産科学専攻 環境科学専攻	2	—	—	—	修士(学術) 修士(工学) 修士(水産学)	—	平成12年度	長崎市文教町1-14	機械システム工学 専攻、環境シス テム工学専攻、シ ステム科学専攻、 海洋生産科学専攻、 環境科学専攻は、 平成23年度より学 生募集停止
	2	—	—	—	〃	—	平成12年度	〃	
	3	—	—	—	博士(学術) 博士(工学) 博士(水産学) 博士(環境科学)	—	平成12年度	長崎市文教町1-14	
	3	—	—	—	〃	—	平成13年度	〃	
	3	—	—	—	〃	—	平成16年度	〃	

医歯薬学総合研究科 (修士課程) 熱帯医学専攻 保健学専攻 (博士課程) 医療科学専攻 新興感染症病態 制御学系専攻 放射線医療科学専攻 (博士前期課程) 生命薬科学専攻 (博士後期課程) (旧)生命薬科学専攻 (新)生命薬科学専攻	1	12	—	12	修士(熱帯医学)	0.00	平成18年度	長崎市坂本1-12-4	医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻(博士後期課程)は、平成24年度より学生募集停止。	
	2	20	—	40	修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.05	平成18年度	長崎市坂本1-7-1		
	4	62	—	248	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.09	平成14年度	長崎市坂本1-12-4		
	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.28	平成14年度	〃		
	4	8	—	32	〃	0.90	平成14年度	〃		
	2	36	—	72	修士(薬科学)	0.99	平成24年度	長崎市文教町1-14		
	3	—	—	—	博士(学術) 博士(薬学) 博士(臨床薬学)	—	平成14年度	長崎市文教町1-14		
	3	10	—	30	博士(学術) 博士(薬科学)	0.80	平成24年度	長崎市文教町1-14		
	国際健康開発研究科 (修士課程) 国際健康開発専攻	2	10	—	20	修士(公衆衛生学)	1.05	平成20年度		長崎市坂本1-12-4

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学においては学科単位, 大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見個いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ 「事前個い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
41	39	0	33	113	40	39	0	31	110		
(44)	(40)	(0)	(32)	(116)	[△1]	[0]	[0]	[△2]	[△3]	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

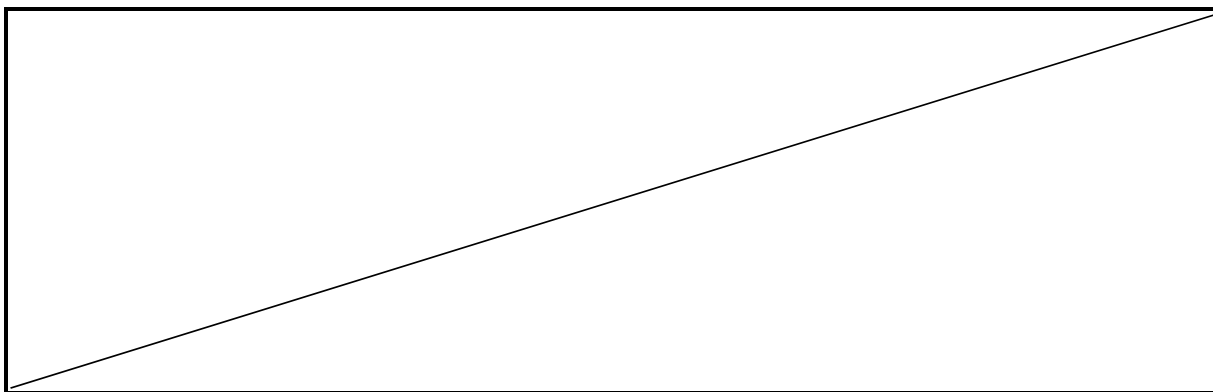
(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照） ・ <u>「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。</u>	

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

(注)・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照） ・ <u>「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。</u>	
--	--

(3) 自己点検・評価等に関する事項



- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成25年6月上旬)